



京都大学防災研究所 平成22年度公開講座（第21回）

“災害のことわざシリーズ 2” —災害は忘れた頃にやってくる—

京都大学防災研究所は、昭和26年に創設以来、自然災害に関する基礎研究および災害対策等に寄与するための応用研究を行ってきました。平成8年度からは、全国共同利用研究所として災害の学理と防災のための総合的な方策について研究を推進しています。さらに、平成22年度からは、共同利用・共同研究拠点にも認定され、自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点として新たなネットワークをベースにした防災研究への取り組みを始めています。

本講座では、防災研究の最前線を分かりやすく解説いたします。防災研究に関心をお持ちの方々のご参加を歓迎いたします。

受講者募集要項

○講 座 内 容

昨年度に続き、防災のことわざシリーズと題して講座を開催いたします。今年度のサブタイトルの「災害は忘れた頃にやってくる」は、寺田寅彦によるものだとされています。災害の種類によらず、大きなものほど滅多に起こりません。幸いなことではありますが、災害の記憶は日が経つにつれて薄れていきますので、それに対する備えは難しいものとなっています。本講座では、地震、高潮や津波、火山、崩壊・地すべり災害などを取り上げ、これらに関する防災研究の最先端をわかりやすく紹介いたします。

○実施日時・場所

日 時：平成22年9月30日（木） 10時00分～17時00分

場 所：キャンパスプラザ京都（京都市下京区西洞院通塩小路下る）5階 第1講義室

○応 募 資 格： 特に問いません

なお、本講座は土木学会CPDプログラムとして認定されています。



○受 講 料： 2,000円（テキスト代及び消費税を含む）

○募 集 人 員： 200名

○応 募 方 法

電子メールまたは往復ハガキにて、住所（連絡先）、郵便番号、氏名・ふりがな、年齢、職業（勤務先）、電話番号を明記し、また、往復ハガキの場合は返信ハガキに宛名（住所、郵便番号、氏名）を記入の上、申し込んでください。住所等の個人情報、当公開講座以外の目的で使用することはありません。

申込みは先着順とし、返信メールまたはハガキにて受講手続きの通知をします。受講料のお支払いは銀行振り込みでお願いいたします。領収書は発行いたしませんので、銀行振込み受領書をもって、領収書にかえさせていただきます。詳細は、返信メールまたはハガキにてお知らせいたします。当日、返信メールの印刷または返信ハガキをご持参ください。

なお、募集人員を超えた場合は、返信メールまたはハガキにて受講をお断りすることがあります。

○応 募 先

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学 宇治地区事務部研究協力課研究支援グループ
電話 0774-38-3350
電子メール・アドレス kokai22@dpri.kyoto-u.ac.jp

○応募締切日 : ~~平成22年9月15日(水)必着~~ 少し席に余裕がありますので、引き続き募集いたします

○応募結果の通知 : 平成22年9月22日(水)までに各申込者に通知します。もし、期日までに連絡が届かない場合は、上記応募先までお問い合わせください。

講座プログラム

10:00~10:05	開会の挨拶	所 長	岡田 憲夫
10:05~11:05	地震の揺れを予測する	教 授	澤田 純男
11:05~12:05	近年の高潮・津波災害からの教訓	教 授	平石 哲也
12:05~13:20	昼休み		
13:20~14:20	桜島の過去の大噴火に学ぶ	准教授	井口 正人
14:20~15:20	温暖化で土砂災害はどのように変わるか?	教 授	松浦 純生
15:20~15:35	休 憩		
15:35~16:35	災害の経験を伝えるー忘れないためにー	教 授	矢守 克也
16:35~17:00	総合討論	司会 教 授	飯尾 能久
17:00~	閉会の挨拶		

開催場所ご案内図

場所: キャンパスプラザ京都
京都市下京区西洞院通塩小路下る
電話 (075)353-9111

経路ご案内

- JR・近鉄「京都」駅下車
烏丸出口から徒歩5分
- 地下鉄「京都」駅下車
北側改札口から徒歩5分
- 市バス「京都駅前」下車徒歩すぐ

